

私たちは日本政府に核兵器禁止条約に調印し、批准することを求めます



岡山県原水協通信

2019年 3月 5日 No.467
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町 4-25
TEL086-244-4526(F)/805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

2019年
3・1ピキニ

核兵器のない世界を切り開く正念場の運動を決意

2019年3・1ピキニデー集会は2月27日の国際交流会議、28日の日本原水協全国集会全体会・分科会、3月1日午前の久保山愛吉さんの墓参平和行進、午後のピキニデー集会和3日間にわたって行われました。

今年のピキニデー集会は2回目の米朝首脳会談の開催時期と重なり、激動の情勢に應える充実した内容の集会として大きく成功しました。同時に65年前のピキニ事件の今日的意味を改めて明らかにした集会になりました。核兵器禁止条約調印国は70カ国に達し、批准国が22カ国となった状況の中、条約発効に向けた努力が続けられている一方で核保有国はその危機感から核兵器禁止条約への妨害を強めています。被爆75年、2020年に向けたたたかいを「核兵器のない世界を切り開く正念場」として位置づけ、とりわけ被爆国日本の運動は憲法改悪を許さず非核平和の日本・核兵器禁止条約参加の実現をめざす運動と結合し「共闘の時代」にふさわしい原水協運動を、と確認する集会でした。



写真・上2019年3・1ピキニデー集会全体会議フィナーレ(焼津市民会館) 右上・久保山愛吉さん墓前平和行進出発前(焼津駅前) 右下・岡山県代表団14名(静岡グランドシップ) 左はピキニデー日本原水協集会で発言する各地の運動と闘い(2/28静岡グランドシップ)



岡山から14名が参加

2019年3・1ピキニデー集会には岡山県原水協から県労、自治労連、民医連、新婦人、平和委員会、岡山医協労組、林精研労、水島・美作原水協、玉島9条の会、災害支援センターの11団体・組織と事務局の14人が参加しました。初めての参加から何度目かの参加まで多彩で、全体会、分科会で全国の運動を学びました。